

近くの森の木で建てる。



nishikawa
江戸前の檜 WOOD

西川材

～西川材の由来～

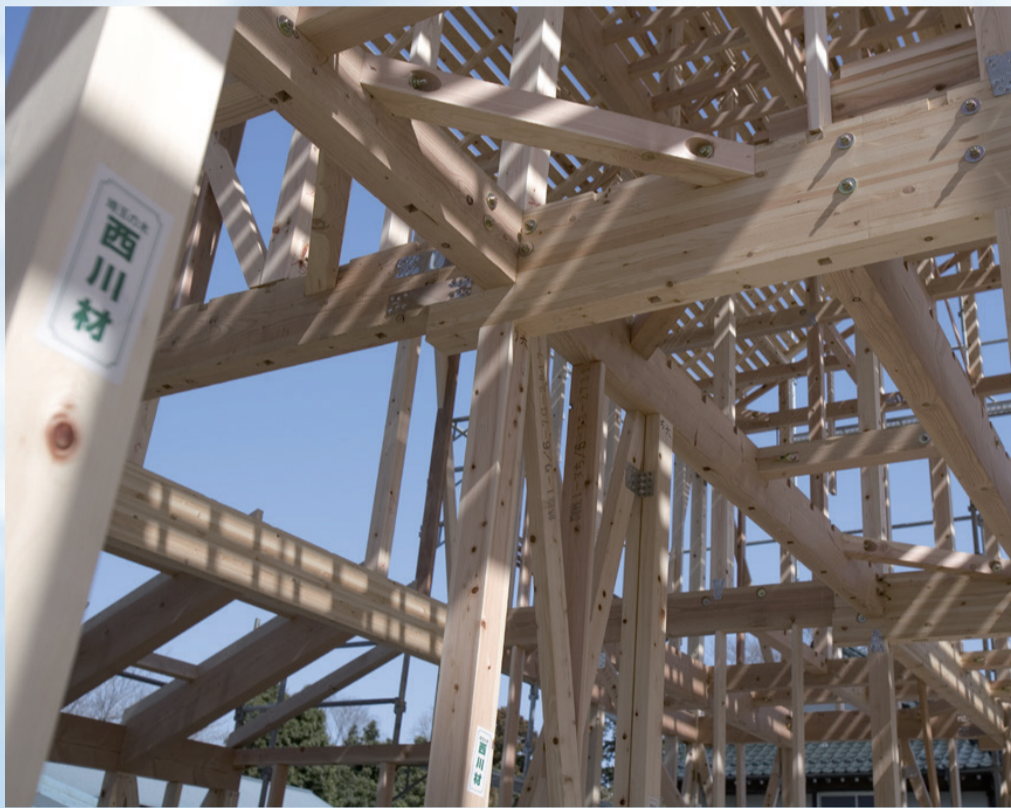
江戸の町造りを支えてきた「西川材」。その産地は、西川林業地呼び、埼玉県の南西部、荒川支流の入間川・高麗川・越辺川流域に位置する都心に一番近い林業地です。江戸時代、この地方から木材を筏により江戸へ流送していたので、「江戸の西の方の川から来る材」という意味から、この地方の材が「西川材」と呼ばれるようになりました。

西川材で家を造り続けて 25 年。

地場の風土で育った「西川材」にこだわる理由があります。

住宅に適した強度、耐久性、調湿性、健康、美しさを求めると、全てを叶える木材は、すぐ近くの森にありました。

日本には雪の多い地域や、一年中温暖な地域など様々な環境があります。もちろんその地域により気象環境・温度・湿度は異なります。西川材は長い間 地場の環境で育ちその地の気候風土の全てを知っている木だからこそ、地場の環境で最大限の性能を発揮します。そして、歴史的な建造物がそれを証明するように、木は伐採後も呼吸をしながら生き続けます。地場で育った「西川材」は、本来の特性を保ちながらお客様の住まいで生き続けます。



強固な木材であること。

西川林業地は、檜の産地としては寒い地域に位置します。それにより 60 年～70 年と時間をかけてゆっくりと成長します。他の産地と比べて育ちが遅い分、年輪が細かく住宅建築に適した強固で良質な木材となります。

湿気に強く、耐久性に優れていること。

檜は、住宅に生まれ変わってからも呼吸しながら生き続ける環境に置くことで、伐採後 200 年間は強度が増していきます。また、調湿性に優れた高い耐水性を有しているため、高温多湿の環境下で高い耐久性を発揮します。

健康性に優れていること。

檜には、自身を守るために【フィトンチッド】や【ヒノキチオール】といった天然由来の成分を有しています。シロアリはもちろん、カビやダニから自身を守る効果と合わせて、殺菌作用からアトピー性皮膚炎にも効果があるといわれています。

木がいつまでも呼吸する「天然乾燥」技術。

ほとんどの住宅に使用される木材は、木材に熱を加えて細胞にダメージを与えることで乾燥を行います。高砂建設では、木の細胞にダメージを与えない「天然乾燥」にこだわります。木は生きているからこそ、その強さと美しさを発揮し続けます。

たかさごの ECO プロジェクト

未来が変わる。日本が変わる。

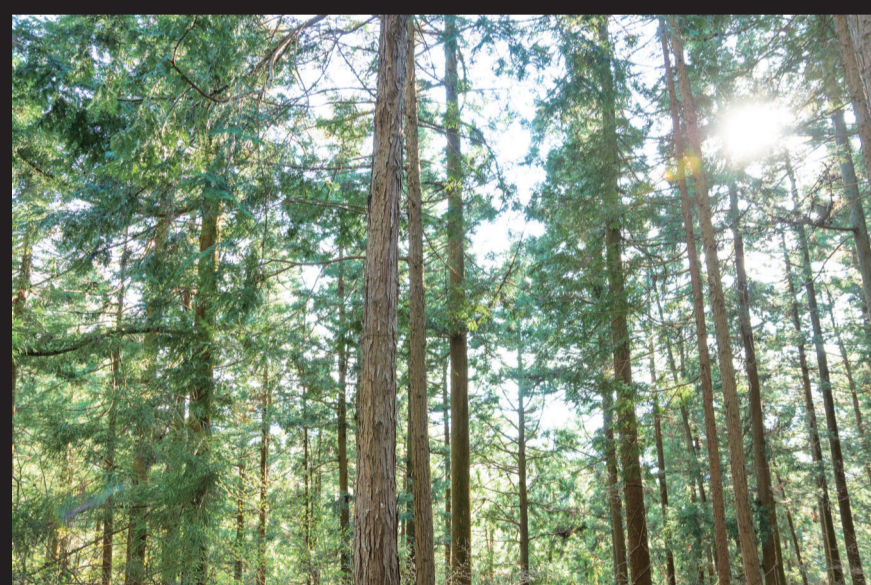
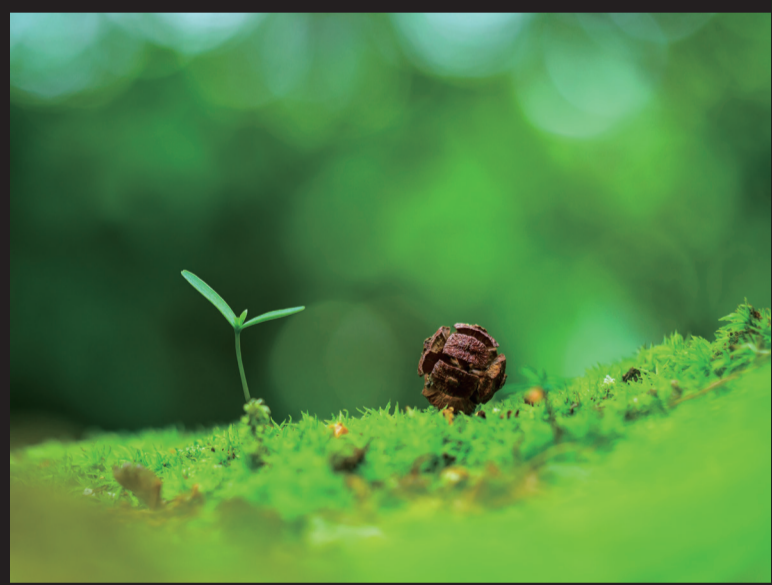
高砂建設は「住まいの ECO」で、チャレンジ 25 に参加しています。

都心から一番近い林業地で、地産地消に取り組んでいます。

近くの森で生まれ育った木で家を造る。近くの森の木を伐り、近くの森に木を植える。

元気な森は、CO2 吸収量も多く、CO2 削減の大きな手助けとなります。まずは、私たちの身近な森で、地球の温暖化防止に取り組むこと。

山の人たちと一緒に森を育てることも私たちの大きな役割です。



長い間「地産地消」の家づくりを支えてきたのは西川材のプロフェッショナル達です。



伐採から施工まで「西川材」を最大限活かしながら徹底管理しています。



自社専属大工による安心と信頼の匠の技。

一人の担当者・職人が現場行程を広く把握する家づくりメリット。

大きな責任感から生まれる「職人の質の高さ」と「高い技術力」。たかさごの家づくりは、他社よりも1棟につき1人の人間が幅広い工程範囲を受け持ちます。これは全ての職人が、家づくりを単行程ではなく全体の流れの中で把握し、責任を持って様々なミスを未然に防ぐためです。お客様の大切な住まいをつくるのは経験・知識が豊富なたかさご専属の職人達です。

自社専属大工と職人が建てる長寿命住宅

参加できるのは、「たかさごの家づくり」を理解した大工・職人だけです。高い性能で自由な間取りを実現するたかさごの長期優良住宅。断熱・気密の技術、二重通気の施工、そして無垢の木材を使った構造や仕上げなど、現場の大工・職人にも高い知識と技術、理解が必要となります。熟練の技と匠の知識、それらを持ち合わせた人間だけがたかさごの家づくりに参加しています。

